

【各教科等のグランドデザイン】

教科名

家庭科

何ができるようになるか

○各教科等で育成する資質・能力

- (1) 家庭や地域の生活上の課題を発見し、協働しながら創造的に解決できる。
- (2) 生活の充実向上を図り、主体的に学び続ける資質・能力を身に付ける。
- (3) 家族や家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、現代の家庭生活における多様性を理解し、グローバルな視野で思考・判断・表現できる。

何が身に付いたか

○各教科等の学習評価

- (1) 家庭や地域の生活上の課題を発見し、協働しながら創造的に解決できる力
- (2) 生活の充実向上を図り、主体的に学び続ける資質・能力
- (3) 家族や家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、現代の家庭生活における多様性を理解し、グローバルな視野で思考・判断・表現できる力

生徒の実態

- ・ICT 機器などを活用しつつ、主体的に学ぶ機会や対話的に学ぶ機会が少なく、深い学びを実践している生徒が少ないことが課題である
- ・学校行事やキャリア形成活動において、主体的に活動している生徒が少ないことが課題である

生徒たちの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・当該生徒に関して教員全体での情報共有と指導方針の目線合わせ
- ・多様な生徒のニーズに寄り添ったチームで指導にあたる体制作り

目指す生徒の姿

- ・教師や友人と協働しながら、学問のよさを理解するとともに、学び方を工夫しながら深い学びを実践しようとする生徒
- ・グローバルな課題の解決に挑む力、持続可能な社会づくりに貢献できる力を持つ生徒

何を学ぶか

○各教科等の教育課程の編成

- ・家庭科での探究的な学習を通して、問題解決能力と主体性を身に付ける。
- ・日常生活で求められる基礎的な家庭科の技術と協働的に学ぶ力を身に付ける。
- ・現代の家庭生活における多様性への理解を深めるとともに、広い視野で思考力や判断力・表現力を身に付ける。

どのように学ぶか

○各教科等の授業の実施

- ・ホームプロジェクト活動の発表を通じた主体的で対話的な学びの実践
- ・ICT を効果的に活用することによる「主体的・対話的で深い学び」の実践
- ・調理や被服の実習を通して基礎的な技術と協働的に学ぶ力の育成
- ・言語活動を通じた多様化への理解できる力と自己表現できる力の育成

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・実習助手との連携
- ・伝統校の強みを生かした地域との密な連携
- ・教科横断指導体制
- ・先進的な ICT の活用
- ・単元横断指導

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

家庭基礎の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、自己の在り方と生き方を考えながら、課題を発見し解決できる資質能力の育成を目指す。

- (1) 家庭基礎の時間において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的に分析しまとめ表現までができるようにする。
- (2) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。